

第3学年社会科：歴史的分野 領土学習授業単元計画

学校名：

1 ねらい

- ・北方領土問題について、既習事項をまとめ、現代における問題を理解する（知識）
- ・領土問題を中心とする日本や世界の諸課題について、どのように解決すべきかを考察し、表現する。
(思考・判断・表現)

2 評価

- ・日本の開国後から戦後までの日露（日ソ）関係の概要を理解している。（知識）
- ・これまでの学習を踏まえ、歴史と私たちとのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、課題意識をもって、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。（思考・判断・表現）

3 学習内容

時間	学習内容	□評価 ◇留意事項
1次 (1)	1 北方領土の様子を知る ・択捉島の写真を提示 ・海外の地図を比較し、国際的な視点から北方領土の扱いを捉える。 2 日露（日ソ）関係の理解 ・日本開国後から戦後までの日露（日ソ）関係を年表や教科書で確認しながら理解する。	◇授業者が北方四島交流事業に参加した際の写真を提示する。 □両国で結ばれた条約や宣言の内容をワークシートにまとめている。（知識）
2次 (2)	3 北方領土が返還されない理由を探る ・日ソ共同宣言以降、平和条約が結ばれない理由を、経済体制、資源などの面から考察する。 ・グループで考えを発表、交流する。	◇思想が偏らないよう、中立の視点から考察する。 □感情的な表現にならず、考えに対し根拠を具体的に示して考えを伝えている。（表現）
3次 (3)、(4)	4 島民・元島民の思いを知る ・DVD「ジョバンニの島」視聴する。 ・元島民の思いを知る。 ・現島民（ロシア人）の思いを知る。	◇元島民・現島民の話は、授業者が北方四島交流事業に参加した際の話伝える。
4次 (5)	5 北方領土問題の平和的解決を考える ・これまでの学びや、元島民・現島民の話踏まえ、北方領土問題の平和的な解決方法を考える。	□持続可能な社会の視点に考察し、根拠を示しながら考えを構築している。（思考）